

懇談会の目的



福祉心理学科 川村 岳人

高齢期と人づきあい

退職

配偶者との死別

身体機能の低下

高齢期の転居

集合住宅

社会的孤立

人づきあいと社会参加

地域社会への態度

活動情報の認知

親しい友人の数

社会参加

(岡本 2012)

人づきあいと健康

人づきあい

健康状態

1.9 - 3.0倍

(Berkman & Syme 1979)

- ・高齢期は生活状況の変化が起こりやすく、それらの変化が **人づきあい** の縮小をもたらすことがある
- ・**人づきあい** は、**社会参加** や **健康水準** に影響を及ぼすことがある
- ・生活状況の変化に気を配り、**人づきあい** が縮小しないように働きかけることが、**社会参加** や **健康水準** の維持・増進につながる可能性がある

社会的孤立を防ぐには

- ・専門職との関係性は、孤立の解消にならない
- ・他者とつながり、存在価値を認め合う“**場**”

特定のグループ を対象にする

近隣 からメンバーを募る

ネガティブな感情 を共有する

(CITRA 2007)

- ・人間は、他者との関係のなかに自分の役割を持ち、誰かの役に立っていると実感することが重要



- ・地域の資源（ひと・もの・かね・サービス）を活かして、誰もが自分は価値のある人間だと実感するためにはどのような方策が必要なのか
さまざまな立場の方からご意見を伺う

参考文献

- ・斎藤雅茂（2013）「地域別にみる孤立高齢者の特性」稻葉陽二・藤原佳典編『ソーシャル・キャピタルで解く社会的孤立』56-72.
- ・小池高史ほか（2014）「居住形態別の比較からみた団地居住高齢者の社会的孤立」『老年社会科学』36(3)：303-312.
- ・岡本秀明（2012）「都市部在住高齢者の社会活動に関する要因の検討」『社会福祉学』53(3)：3-17.
- ・Berkman, L. F. & S. L. Syme (1979) "Social Networks, Host Resistance, and Mortality: A Nine-Year Follow-Up study of Alameda County Residents", American Journal of Epidemiology, 109 (2), pp. 186-204.
- ・The Cornell Institute for Translational Research on Aging (CITRA) (2007) "Social-Isolation-Strategies for Connecting and Engaging Older People."